

# 提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午後】
部会名	小学校 道徳部会

## 1 提案テーマ

### 『豊かな人間性をはぐくむ道徳の授業』 ～誠実な心を養う魅力ある教材開発をめざして（家庭との連携）～

2 主題 誠実な心とは 資料名「本屋のお姉さん」

3 学年 第6学年

## 4 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ① 児童が自ら課題に取り組み、他とかかわりながら自ら考え生きようとする道徳教育の推進
- ④ 道徳の時間の指導と評価の工夫・改善

## 5 学習指導要領との関連

第3章 道徳 第2 内容 [第5学年及び第6学年]

- 1 主として自分自身に関すること。 (4) 誠実に、明るい心で楽しく生活する。
- 2 主として他の人とかかわりに関すること。 (2) だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。

## 6 実践に向けての課題意識

本学級の児童は、とても明るく、休み時間も男女分け隔てなく過ごしている。一方で、節度ある生活、努力、責任ある行動、誠実さなど、道徳の内容項目1に関わる行動が十分ではないと感じる児童も少なくない。人の所有物が床に落ちていても素通りしたり、自分の間違っただけを素直に認めなかったりするところ、気持ちよく生活するためにみんなで協力してよりよくしていこうとする気持ちの弱さなどが課題であると感じている。

そこで、資料を通して、真心(誠実な心)を持って接する良さに気づき、友達や先生、家族、地域の人々と関わり合うことができるようになってほしいと考えた。また、道徳の授業で考えられるだけでなく、普段の生活の中で、言葉や行動で示すことができるよう実践力を育てていきたいと考えた。

## 7 実践の概要

誠実な行動がどういうものかがわからない児童も多かったので、事前指導として「私たちの道徳」を資料として用い、誠実の概念について学習した。また、アンケートを取り、誠実な行動について自分を振り返らせた。授業では、自分だったらどうするかという自らと向き合う発問の工夫、考えの比較や変化がわかりやすい板書の工夫を行い、誠実な心や行動について考えを深められるようにしていった。最後に、今の自分と重ね合わせるように振り返りをさせ、これからの実践につなげていけるよう考えさせた。お互いのワークシートには、児童同士でコメントを書き合い、様々な意見の交流を通して道徳的な価値観を更に深められるようにした。

授業後には、授業の内容や児童の発言を学級通信道徳号として発行し、家庭での話し合いも行ってもらった。学校で学んだことを家庭でも話題にもらい、様々な視点で考えをより深められるように、ワークシートの裏に保護者の考えや体験談を記入してもらった。また、授業後、誠意ある行動をした人に「誠実カード」を書き、お互いが見つけ合い、認め合う取組も行った。

## 8 成果と課題

(成果)

- ・事前指導として、ねらいとする価値観の概念を知るために「私たちの道徳」が役立つことがわかった。
- ・家庭で話し合い、保護者の意見をもらうことで、様々な視点から誠実な心や行動について考えることができた。
- ・振り返りでは、「これからは相手のことをもっと考えて行動したい」と書いている児童が多く、本時のねらいにせまることができた。
- ・「誠実カード」を書く活動を定期的に行ったことで、児童の自主的な誠意ある行動が多く見られるようになった。

(課題)

- ・発言を拾い、なぜそのように考えたのかももっと全体で考え、深めることができるような授業展開が必要であった。
- ・取り上げる言葉や発問が「誠実」と「思いやり」の二つの価値観にまたがってしまい、曖昧な部分があった。

## 9 予想される協議の柱

- ・ねらいとする価値観(誠実)にせまる授業展開の工夫。